

全国花火名人選抜競技大会 ふくろい遠州の花火2017

開催要項

全国花火名人選抜競技大会ふくろい遠州の花火は、1945年以降、当時の袋井町商工会の主催により原野谷川「静橋」付近にて開催されていた花火大会を、1995年より全国発信を目的に会場を原野谷川親水公園に移転し、規模の拡大と共に内容を充実して開催することとなり、夏の風物詩の代表格として県内外にも広く認知されるようになりました。

2012年からは、文化庁より全国花火名人選抜競技大会が日本伝統の花火文化と煙火技術、芸術性を評価いただき、優勝者に文部科学大臣賞が授与されることとなり、全国屈指の花火大会として地位を確立しております。

本年「ふくろい遠州の花火2017」では、花火イベントを地域観光資源ととらえ、周辺地域のその他イベントとも広域連携し、花火をキーワードとして地域の魅力を全国発信していきたいと考えます。また来場者、スタッフ、会場周辺住民、関係者の熱中症リスクにも十分配慮し地域力を結集して円滑な大会運営に臨み、袋井が誇る一大イベントとして全国、海外へ発信し「花火の町ふくろい」を目指します。

【2017大会テーマ】

**「花火の町ふくろい」
情熱乱舞 夢花火**

「ふくろい遠州の花火」に携わる、花火師、協賛者、観覧客、スタッフ、学生、子供たち、周辺地域の皆様すべての人の情熱・地域力を結集し、音と光の総合芸術エンターテインメント花火で夢と希望を世界に向けて発信します。

【開催基本方針】

1. 地域力を結集してより安心安全な大会運営とマナー向上をすすめる。
2. 経済効果の生まれる大会となるよう地域連携し共通イベントでブランド化を目指す。
3. 袋井が誇る観光資源として、国内外から多くのお客様を迎え「花火の町ふくろい」を目指す。
4. 文部科学大臣賞を冠に、花火の伝統文化・芸術性を前面に打ち出した大会とする。
5. 間近で堪能できる臨場感の中で体感する「音と光の総合芸術」としてブランド化を図る。
6. 子ども達の健全な育成を支援する。
7. ICTの有効活用により、わかりやすく正確な情報を発信する。
8. 関係者の熱中症リスクに配慮した運営をすすめる。

【運営方針】

1. 花火ブランドの向上の為に

- (1) 文部科学大臣賞を冠に煙火芸術を競演する全国花火名人選抜競技大会を開催する。
- (2) 有料観覧席では、間近で音と光の饗宴を堪能する臨場感と趣向を凝らした魅力あふれるプログラムを編成し全国へ発信する。
- (3) ゆるキャラ「どまんチャカ」を花火イメージキャラクターとして積極的に活用する。
- (4) 公式ホームページを刷新し正確で分かりやすい情報提供をする。
- (5) 三遠南信地域を中心に広域連携し地域の花火文化の向上を目指す。
- (6) ラジオ放送と協力し「花火川柳コンクール」を実施する。

2. 安心安全な大会運営の為に

- (1) 袋井警察署、袋井消防署、袋井土木事務所、袋井市役所等に指導協力を仰ぐ。
- (2) 自治会と連携し、会場及び会場周辺の雑踏対策・交通渋滞等の安全対策を効果的に行う。
- (3) 効果的なガードマン配置、看板設置により、未然に事故防止を図る。
- (4) 袋井・愛野両駅を効率的に利用した誘導対策を行う。
- (5) 雑踏対策として売店数をエリア別に均等配置をする。
- (6) 会員売店、露天商の発電機、火気取扱い、衛生面の安全対策を強化する。
- (7) 万一の事故に備え賠償保険の補償枠を十分検討の上加入する。
- (8) 災害等発生による対応を市と共に強化する。
- (9) 迷惑駐車の本根に向けて対策を強化する。
 - ① 公式ホームページ、ポスター等で積極的に広報する。
 - ② 静岡新聞社静岡放送のテレビ、ラジオ、新聞広告で広報する。
 - ③ バスツアー、パークアンドライドプランを拡充する。
- (10) 大会本部を中心に従事箇所への指示連絡チェック体制を強化する。
- (11) 従事箇所ごとに内容、対策の共有化を図るため事前説明会を徹底する。
- (12) 熱中症患者ゼロを目標に運営方法の調整対策を行う。

3. 安定した大会運営の為に

- (1) 事前に各部会事業の支出計画を明確にし、全体の収支予算を計上する。
- (2) 収入予算に基づき役職員一丸となって企業の協賛を依頼する。
- (3) 有料観覧席の完売のために全国や海外からの誘客に努める。
 - ① 静岡県観光協会・静岡県旅行業協会等に協力を仰ぎ誘客に努める。
 - ② 雑誌・メディア・ホームページと連動したタイムリーな情報発信を展開する。
 - ③ 県内外の旅行会社へバスツアー企画を積極的に働きかける。
 - ④ アジア産業交流委員会等と連携し海外からの誘客おもてなしに努める。
 - ⑤ 「花火もりあげ隊」によるキャラバン隊や街頭PRを行う。
 - ⑥ 地域資源を活用し滞在型の企画を推進する。

4. 健全で力強い子どもたちの育成支援の為に

- (1) 市内小中学生を対象に第18回絵画コンクールを実施する。
- (2) 県内の高校生を対象に第6回フォトコンテストを実施する。
- (3) 市内小中学生、高校生、大学生各種団体等の協力を仰ぎ大会翌日クリーンアップ作戦を実施する。